

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	3年 6月 11日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府枚方市伊加賀緑町2番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 恩地食品株式会社 代表取締役社長 恩地 宏英
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	恩地環境推進会議（恩地独自システム）
適 用 範 囲	京都工場設備全般
導 入 年 月 日	23年 10月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	私たちは生産活動のすべてにおいて「地球にやさしい工場」を基本理念として、社員一同地球温暖化問題を重要視し、改善に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①CO2排出量 2017年度を基準に原単位（生産数量ベース）で2022年度に総排出量を3%削減、廃棄物（植物性残渣量）1%削減、原単位2%削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容	生産工程による廃棄物削減を目指し、生産工程改善を見直す。老朽化設備の改善及び更新でのエネルギー使用量抑制を目指す。コージェネ効果については引き続き検証を重ねる。
目標を達成するための取組の進捗状況	コージェネによる電力量に関しては、生産数量増に対しても使用量はほぼ維持状態である。排水設備の大型プロア2台を新規交換し、些少であるが、来期に効率アップでの効果に期待する。生産工程上の廃棄は、生麺工程での残麺リサイクルを推進し、歩留まり向上と社員意識の向上に寄与し、効果が上がった。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	生産効率の向上で（リサイクル等）生産数量101%と推移した中で、電力量は100%と維持であったが、ガス使用量98%と昨年を下回り、温室効果ガス事業活動に伴う排出量を-2.6%削減、原単位は-4.06%削減で好評価であった。リサイクル効果で廃棄率は14%削減し、評価できる結果であった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について月1回は確認を行っている。これまでの違反や行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、年1回検討をしている。令和2年は好結果だったので、来期以降も同システムにおいて改善を推進していく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。